

## 〈特 集〉

## 福建省における外資利用と産業構造高度化に関する実証分析

王 志江\*

楊 秀文†

## I. はじめに

改革開放以来、中国における外資導入は目覚ましい成果を遂げてきた。2007年まで、全国の実質外資利用額は783.99億米ドルに達した。福建省は中国でもっとも早く外資導入に関する政策を実施した二つの省の一つであり、中国の外資導入において重要な位置を占めている。2007年全国の実質外資利用額は783.39億米ドルに達し、そのうち福建省の実質外資利用額は81.31億米ドルであり、全国の10.34%を占めている。1983年から2007年まで、全国の実質外資利用額は延べ9414.96億米ドルであり、そのうち福建省の実質外資利用額は延べ740.12億米ドルで、全国の7.86%を占めており、平均割合が6%である。近年来全国に占める福建省の実質外資利用額の割合は10%前後で推移している。

福建省は外資導入において著しい成果を挙げ、経済発展を実現したが、長い間、産業別外資の不合理的な配分が目立ち、産業構造高度化に影響を及ぼしている。経済発展および環境変化に伴い、福建省の発展は歴史的な重要時期に差し掛かっている。福建省にとって、産業構造高度化を推進し、イノベーション能力を強化してコアコンピタンスの維持と向上を確保することが急務である。外資を活用できるかは福建省

の産業構造高度化に大きな影響を与える。

## II. 福建省産業部門別外資利用の現状分析

## 1. 福建省外資利用の概況

## (1) 福建省外資利用の経由

2007年福建省の実質外資利用額は81.31億米ドルで、全国の実質外資利用額の10.34%を占めている。図1のように、1979年から2007年まで、福建省の実質外資利用は五つの段階に分けることができる。①発足・模索段階(1979-1985年)。この時期は主に関連法制度および外資導入に必要なインフラを整備し、外資導入を試みた。②安定発展段階(1986-1991年)。この時期、中国は外資導入に対するマクロ政策指導と関連法制度を強化した。外国直接投資の誘致方向と構造が調整され、最適化された。投資インフラも改善された。③急速発展段階(1992-1995年)。1992年初、鄧小平の南巡講話は改革開放を強く押し進めた。福建省における外資誘致は持続的に増加し、投資部門も次第に拡大された。実質外資利用額は1992年の141,633万米ドルから急速に1995年の403,881万米ドルに増加した。④調整・向上段階(1996-2001年)。福建省の実質外資利用額の増加ペースが減速し、実質外資利用額は

\* 華僑大学経済・金融学院教授

† 華僑大学経済・金融学院修士課程

40億米ドル台にとどまった。1996年から、中国の外資導入は量より質を重視するようになってきた。⑤調整強化・迅速向上段階(2002-2007年)。この時期は経済グローバル化の高速発展期であり、中国のWTO加盟に伴い、外貨準備高は不断に高められ、国内の資金不足が緩和された。外資導入の主な役割は中国の産業競争力を高めることである。福建省の実質外資利用額は新しい数値を記録した。2007年福建省の実質外資利用額は81.3億米ドルであり、実質外資利用額増加率は3年連続で13%を超え、

2005年は17.15%まで達した。

(2) 福建省経済発展に対する外資の促進作用  
外国直接投資は福建省の社会経済発展を大きく推進してきた。外資導入は中国の資金と外国為替の不足を補い、資本の蓄積を加速した(図2参照)。1994年に福建省の吸引した外資が全社会固定資産投資に占める割合はピーク(59.37%)に達した。国内資金問題が解決されたにつれ、その割合が下がってきて、1997年には14.3%まで減少した。外資企業は福建省の就職促進に対しても大きな役割を果たして

図1 福建省における実質外資利用額の変動

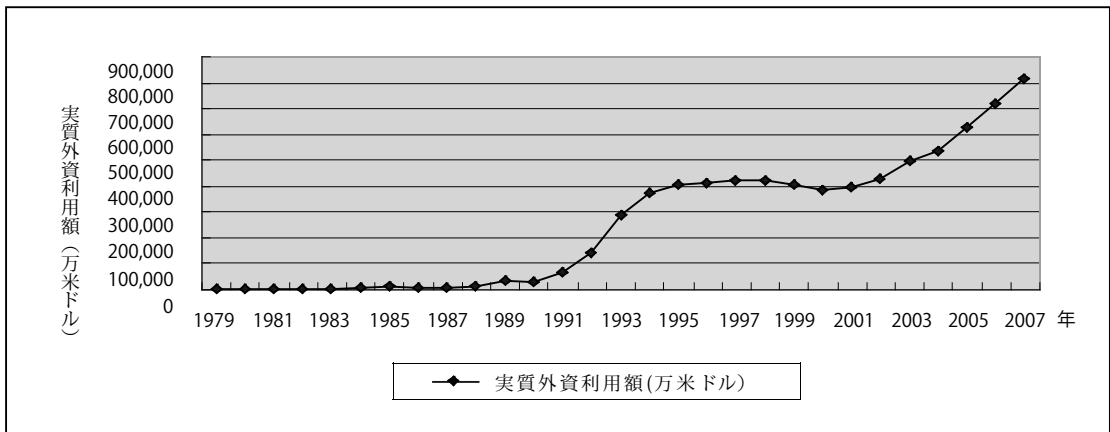


図2 社会固定資産投資総額に占める外資割合の変動

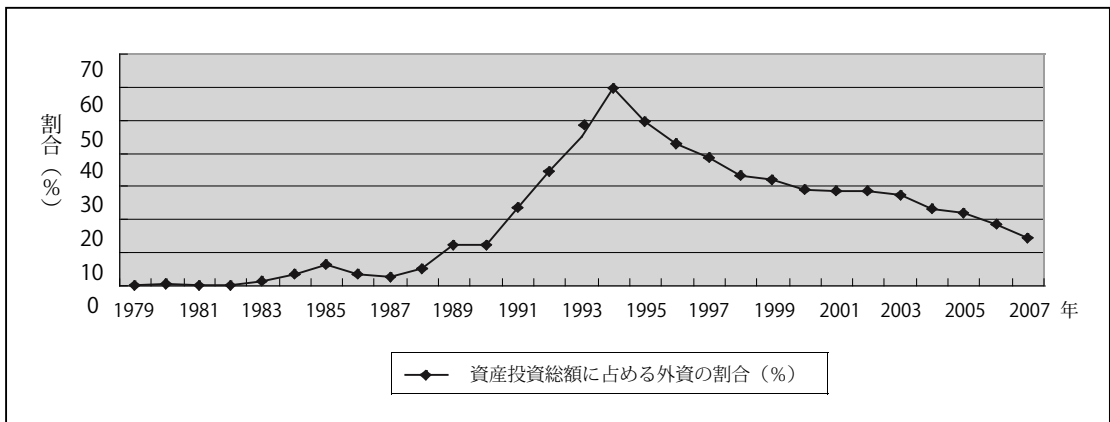


図3 全省従業者数に占める外商投資企業従業者数の割合

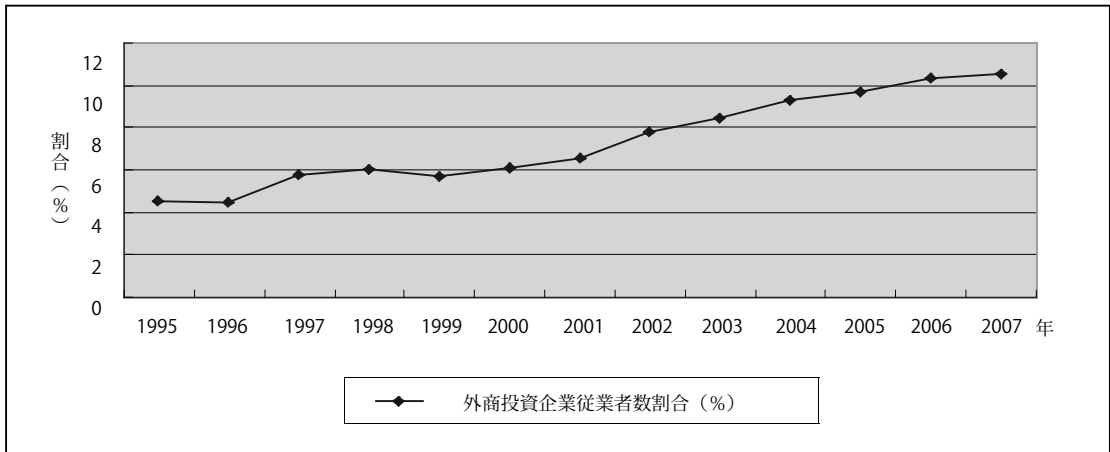


表1 福建省産業部門別実質外資利用の推移

年	第一次産業		第二次産業		第三次産業	
	金額 (万米ドル)	割合 (%)	金額 (万米ドル)	割合 (%)	金額 (万米ドル)	割合 (%)
1995	1,398.8	0.88307	114,586.5	72.3391	42,416.6	26.7778
1996	1,434	0.91221	98,985	62.9672	56,782	36.1206
1997	1,414	0.49147	217,357	75.5478	68,937	23.9608
1998	16,020	0.90992	1,279,226	72.659	465,343	26.4311
1999	1,317	1.09541	83,300	69.2844	35,612	29.6201
2000	648	0.36692	120,985	68.5068	54,970	31.1263
2001	1,297	0.78704	106,152	64.415	57,345	34.798
2002	2,138	0.82834	184,811	71.6025	71,158	27.5692
2003	1,618	0.51908	234,920	75.3664	75,166	24.1145
2004	443	0.12371	297,584	83.102	60,068	16.7743
2005	1,784	0.55273	265,665	82.3333	55,221	17.1138
2006	1,807	0.39304	256,664	55.8235	201,307	43.7835
2007	3,112	0.41627	576,209	77.0752	168,272	22.5085

きた（図3参照）。外商投資企業の従業者数が全省従業者数に占める割合は1995年の4.5%から2007年の10.51%まで上昇してきた。

## 2. 福建省産業部門別外資利用の推移

1995-2007年福建省各産業部門の実質外資利用総額に基づいて、福建省産業別外資利用の現状を分析する（表1、図4参照）。第一に、第一次産業の実質外資利用割合が低い。

1995-2007年福建省第一次産業の実質外資利用総額は304,430万米ドルで、全省実質外資利用総額に占める割合は平均0.64%であり、図6が示しているように、期間中第一次産業の実質外資利用総額が占める割合は1%以下にとどまっている。そのうち、2004年の割合が一番低く、0.12%しかなかった。1999年は1.095%と最も高かった。

第二に、第二次産業の実質外資利用は主導的地位を占めている。1995-2007年福建省第二次産業の実質外資利用総額は3,836,445万米ドルであり、全省実質外資利用総額に占める割合は平均55.82%である。図4のように、期間中第二次産業が占める割合は70%前後に維持している。そのうち、2006年の割合が一番低く、0.12%しかなかった。2004年はピークの83.1%を記録した。

第三に、第三次産業の実質外資利用は比較的安定しているが、変動が伺える。1995-2007年福建省第三次産業の実質外資利用総額は1,412,598万米ドルであり、全省実質外資利用総額に占める割合は平均27.746%である。

図4が示したように、1995-2000年第三次産業が占める割合は30%前後に維持しているが、2002-2005年の間は徐々に低下し、2006年は急激に上昇しピークの43.78%に達したが、2007年に再び22.51%まで下がった。近年来福建省第三次産業の実質外資利用に大きな変動が起きた。

全体からみると、福建省の実質外資利用は「第二次産業、第三次産業、第一次産業」という構図が伺え、中国全体の实質外資利用構図と似ている。

### 3. 福建省各産業部門における外資利用状況

福建省の外資利用産業構造の現状分析から分かるように、福建省の実質外資利用は主に第二次産業、第三次産業に集中しており、第一次産業の実質外資利用の割合が低い。したがって、福建省各産業部門における外資利用状況の分析に際して、ここでは第二次産業と第三次産業に重点を置きながら考察する。

#### (1) 第二次産業における外資利用状況

図5のように、福建省の第二次産業における

図4 福建省の実質外資利用額に占める各産業部門割合の変動

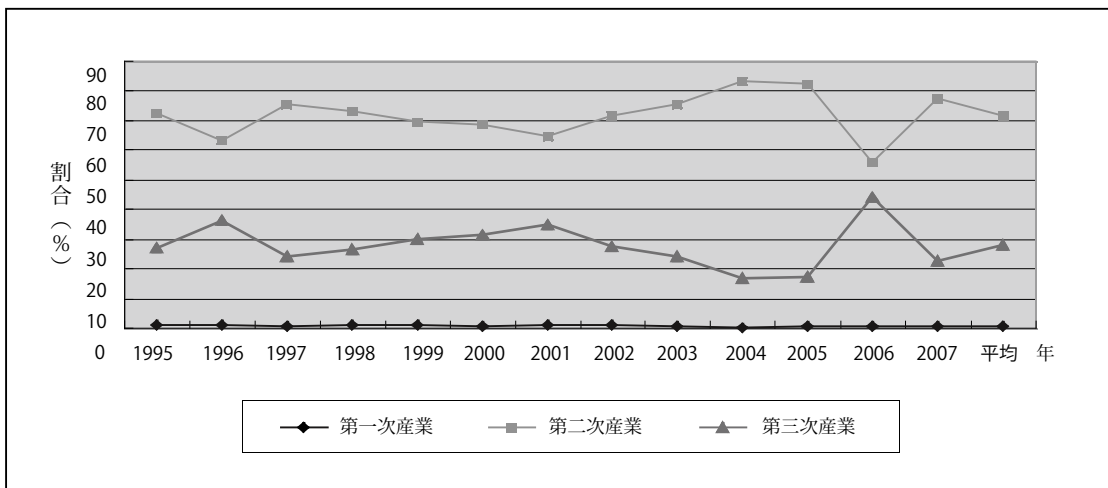


図5 福建省第二次産業における外資利用割合の変動

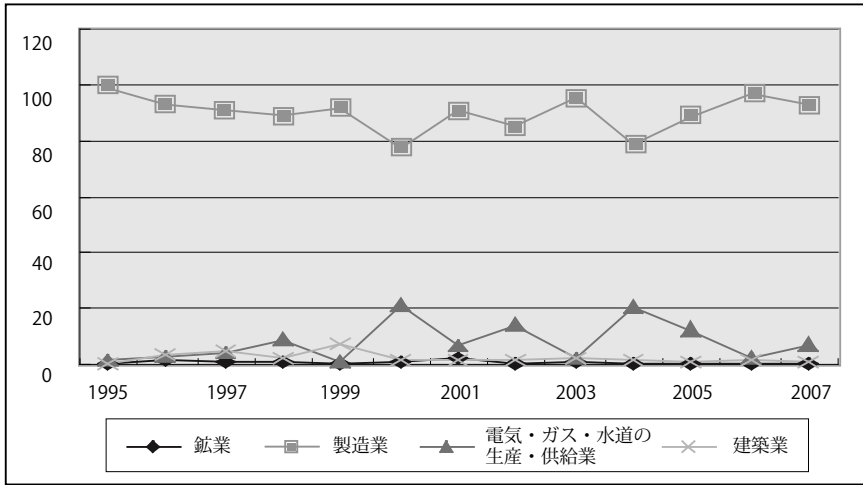
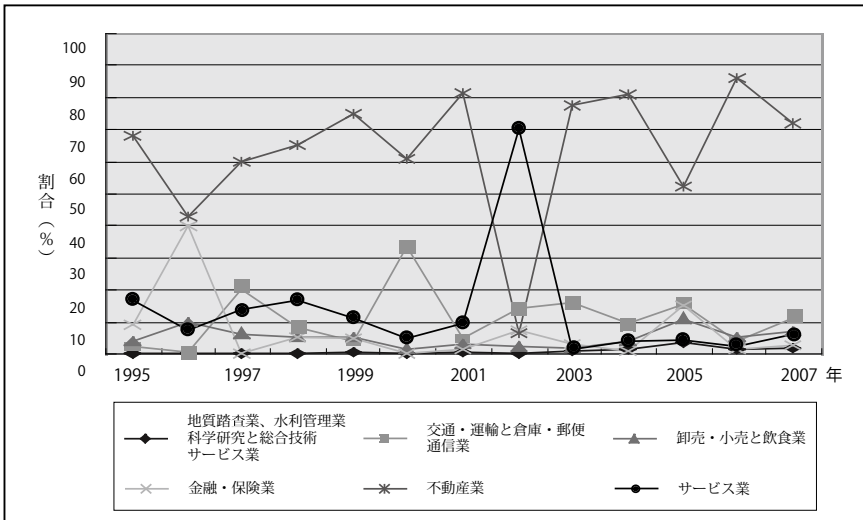


図6 福建省第三次産業における外資利用割合の変動



外資利用は主に製造業に集中しており、その次は電気・ガス・水道の生産・供給業であり、建築業と鉱業は非常に少ない。製造業における外資利用の割合は90%前後に維持しており、1995年はピークの98.51%に達した。電気・ガス・水道の生産・供給業と建築業の平均割合はそれぞれ7.7%と2%であり、鉱業の割合は低くて、0.52%しかなかった。

(2) 第三次産業における外資利用状況

図6のように、福建省の第三次産業における外資利用は主に不動産業、交通・運輸と倉庫・郵便通信業、サービス業に集中しており、その他産業の外資利用割合が低い。不動産業の外資利用割合が一番高く、2002年に6.5%まで低下したが、平均割合は63.6%である。交通・運輸と倉庫・通信業の平均割合は10%前

後に維持している。サービス業の平均割合は12.86%であるが、変動が激しい。卸売・小売と飲食業、金融・保険業の平均割合はそれぞれ5%と7%であり、地質踏査業、水利管理業、科学研究と総合技術サービス業の割合は1%以下である。

上述のように、福建省に対する外資投資は主に第二次、第三次産業に集中しており、第二次産業には主に製造業、第三次産業には主に不動産業、交通・運輸と倉庫・郵便通信業、サービス業に集中しているが、その他の産業の占める割合が低い。第二次産業において、一般加工工業、労働集約型産業に対する投資が多く、一方、基盤産業、資金集約型産業、技術集約型産業とハイテク産業に対する投資が少ない。第三次産業において、地場産業などの経済効果が大きい産業に対する投資が多く、地質踏査業、水利管理業、科学研究と総合技術サービス業などの基盤産業に対する投資が少ない。福建省の実質外資利用の産業構造はひどく歪んでいる。産業部門間、部門内の構造は非常に不合理である。外商投資家は利益最大化を追求するため、資本金の少ない、リスクの小さい、経済効果の大きい産業に対する投資が過多である。それゆえに、外資産業構造に対するコントロールを強化・改善することは福建省産業構造高度化・最適化の推進に不可欠である。

### III. 結論及び政策提案

福建省外資利用の産業部門間配分に対する分析から分かるように、外資の産業別配分が不合理であり、外資は一般加工工業、労働集約型産業に集中し、インフラ産業、資金集約型産業、技術集約型産業、ハイテク産業に対する投資が少ない。これらすべては福建省の実質外資利用

がゆえに、産業構造がひどく歪んできて、産業部門間、部門内の配分が非常に不合理であることを表している。「福建省海峡西岸経済区建設を加速させる国務院の若干意見」で示された福建省産業高度化にかかわる指導に従うと、福建省産業構造高度化を推進するためには、以下の点から外資による産業構造の調整とコントロールを強化・改善することが不可欠である。

第一に、第一次産業への外資投資を増加させ、現代農業の発展に力を入れる。農業の発展戦略を調整し、農業構造の高度化を促進して現代農業の産業システムを構築する。農業の技術イノベーションを推進し、農業インフラを整備して土地の産出率や資源の利用率を高める。地質踏査・水利管理・科学研究・総合技術サービス業などの基幹産業への外資投資を奨励すること。

第二に、外資配分を一層適正させ、外資を主導産業、ハイテク産業、サービス業、省エネルギー産業とグリーン産業に誘致する。第二次産業に投資する外資の質を向上させる。電子情報、装備製造、石油化学工業という三大主導産業への投資を増加させる。特化・優位産業と産業クラスターの育成に力を入れ、競争力のある現代産業システムを構築する。第三次産業内部における外資配分を調整し、交通運輸・倉庫保管と郵便通信業及び生産・技術発展にサービスする産業の発展に重点を置きながら、サービス業の発展を促進すること。

第三に、外資と関連産業との連携を高め、外資と技術の導入を通して、固有の製造業及び関連産業を調整し、「連携効果」を働かせ、競争を通して国内企業を育成する。また、多国籍企業との協力を力を入れ、共同研究開発センターを構築し、技術誘致を加速させること。

(黄淑慎訳、本誌編集委員会監修)

### 参考文献

- 江小涓「中国の外資経済对増長、結構升級和競争力の贡献」『中国社会科学』2002年6月。
- 田素华「外資对东道国の産業結構調整効果分析——对上海市案例の实证研究」『上海経済研究』2004年2月。
- 李雪「外商直接投資の産業結構効果」『経済与管理研究』2005年1月。
- 彭冲「外商直接投資对我國産業結構的影响」『中国科技産業』2009年3月。
- 福建省統計局『福建統計年鑑』（1980年-2008年）中国統計出版社。